

ドメインメールサービス メール設定パネル マニュアル

2017年7月版

楽天コミュニケーションズ株式会社

ドメインメールサービス メール設定パネル マニュアル 目次

ログイン／ログアウト.....	3
メール設定パネルへのログイン.....	3
ログアウト.....	3
メイン画面.....	4
基本情報.....	5
メールパスワード変更.....	6
オプション設定.....	7
メールボックス容量.....	7
スパムフィルタ.....	8
ウイルスフィルタ.....	10
メール転送.....	10

ログイン／ログアウト

メール設定パネルへのログイン

メール設定パネルを利用する場合は、御社管理者様より案内されたメール設定パネル URL にアクセスし、ログインします。

【手順】

ログイン画面より<メールアドレス>と<パスワード>を入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。メール設定パネルのメイン画面が表示されます。



メール設定画面

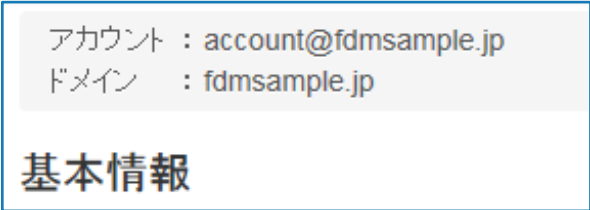
メールアドレス

パスワード

➔ ログイン

※ パスワードを忘れた場合は、御社管理者様へお問い合わせください。

※ メール設定パネルへログイン中のログイン名（アカウント）とドメインは、下図のように画面上部に表示されます。



アカウント : account@fdmsample.jp
ドメイン : fdmsample.jp

基本情報

ログアウト

画面上部の「ログアウト」をクリックします。



メイン画面

メール設定パネルのメイン画面では、メールアドレスを利用される方自身で基本情報、メールパスワード、メール転送、ウイルスフィルタ、スパムフィルタなどのオプション設定を行うことができます。

ドメインメールサービス **ドメインメールサービス**

メール設定画面

ホーム 上位パネル ログアウト

アカウント : postmaster@fdmsample.jp
ドメイン : fdmsample.jp

基本情報

氏名

備考/所属

エイリアスメールアドレス
英小文字または数字を先頭に2-15文字の文字列
英小文字、数字、ハイフン(-)、ドット(.)、アンダースコア(_)使用可
ハイフンとドット、アンダースコアは先頭と末尾を除く
エイリアスの修正はご利用のサービス提供事業者へのご依頼が必要になります

メールパスワード変更

パスワード*

パスワード確認*

- 6-8文字の文字列
- アルファベット、数字の他に最低1文字以上の「記号」が必要
- 使用可能な「英数字」と「記号」は以下のみ
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
!#\$%(){ }+*[]
1234567890
- スペース使用不可
- アカウント名を含む文字列の指定不可

オプション設定

設定変更が有効になるまで一時間ほどお待ち下さい

メールボックス容量

- メールボックス容量追加料金に関しましては、ドメイン管理者またはサービス提供事業者までお問い合わせ下さい

スパムフィルタ

ウイルスフィルタ
サーバーにメッセージの
コピーを残す

転送先アドレス1

転送先アドレス2

転送先アドレス3

転送先アドレス4

転送先アドレス5

基本情報

基本情報では、〈氏名〉、〈備考／所属〉、〈エイリアスメールアドレス〉の設定を行います。
入力が終わりましたら、[基本情報を変更]をクリックします。

基本情報

氏名

備考／所属

エイリアスメールアドレス

@fdmsample.jp
英小文字または数字を先頭に2-15文字の文字列
英小文字、数字、ハイフン(-)、ドット(.)、
アンダースコア(_)使用可
ハイフンとドット、アンダースコアは先頭と末尾
を除く
エイリアスの修正はご利用のサービス提供事業者
へのご依頼が必要になります

- ① 〈氏名〉が未入力の場合、メールアドレスの@以前の文字列が設定されています。
例) domain_mail@example.jp の場合、” domain_mail”が設定されています。
- ② 〈備考／所属〉は、必要に応じて入力します。
- ③ 〈エイリアスメールアドレス〉は、メールアドレスに別名をつけることができます。
例) domain_mail@example.jp に、dm@example.jp というエイリアスを持たせた場合、
dm@example.jp 宛のメールは、domain_mail@example.jp へ配送されます。

メールパスワード変更

メールアカウントのパスワードを変更します。

新しいパスワードを <パスワード> と <パスワード確認> に入力後、
[メールパスワードを変更]をクリックします。

メールパスワード変更

パスワード*

パスワード確認*

- 6-8文字の文字列
- アルファベット、数字の他に最低1文字以上の「記号」が必要
- 使用可能な「英数字」と「記号」は以下のみ
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
!#\$%(){ }+*[]
- スペース使用不可
- アカウント名を含む文字列の指定不可

※メールパスワード変更後はメールクライアントソフトのパスワード登録も必ず変更してください。

オプション設定

メールボックス容量、スパムフィルタ、ウイルスフィルタ、メール転送を設定します。
必要な設定をしたら、[変更]をクリックします。

オプション設定

設定変更が有効になるまで一時間ほどお待ち下さい

メールボックス容量

- メールボックス容量追加料金に関しましては、ドメイン管理者またはサービス提供事業者までお問い合わせ下さい

スパムフィルタ

[★ スパムフィルタ詳細設定](#)

ウイルスフィルタ

サーバーにメッセージの
コピーを残す

転送先アドレス1

転送先アドレス2

転送先アドレス3

転送先アドレス4

転送先アドレス5

メールボックス容量

メールボックスの容量を増減することができます。
プルダウンで、20MB、1GB、2GB、3GB、4GB より選択します。

※ 設定可能なメールボックス容量は、ご契約により異なります。

オプション設定

設定変更が有効になるまで一時間ほどお待ち下さい

メールボックス容量

- メールボックス容量追加料金に関しましては、ドメイン管理者またはサービス提供事業者までお問い合わせ下さい

スパムフィルタ

スパムフィルタを利用する場合、<スパムフィルタ> のチェックボックスをオン (✓) にします。

スパムフィルタ

[スパムフィルタ詳細設定] をクリックすることで、より細かな設定を行うことができます。

⚙️ スпамフィルター詳細設定

スパムフィルタに関し、下記の設定を行います。設定後、[変更]をクリックします。

言語フィルタ

- 中国語エンコードのメール
- 韓国語エンコードのメール
- ロシア語エンコードのメール

ローカルブラックリスト

- 送信者ブラックリスト
- ホストブラックリスト
- コンテンツ

リアルタイムブラックリスト

- スпамハウスSBLブラックリスト
- スпамハウスPBLブラックリスト
- スпамハウスXBLブラックリスト

スパムアサシン

8 ▼ スпамアサシンの設定レベル

その他オプション

- グレーリスト
- SES(送信サーバー書名付きメール送信機能)

変更

リセット

戻る

① 言語フィルタ

中国語、韓国語、ロシア語の各言語でエンコードしたメールをフィルタで、ブロックします。
機能を有効にする場合は、フィルタ対象の言語のチェックボックスをオン（✓）にします。

② ローカルブラックリスト

送信者ブラックリスト、ホストブラックリスト、コンテンツフィルタにより、迷惑メールをフィルタします。機能を有効にする場合は、フィルタ対象のリストのチェックボックスをオン（✓）にします。

送信者ブラックリスト：迷惑メール配信者が使用している E メールアドレスをフィルタします。

ホストブラックリスト：リアルタイムブラックリスト (RBL) に未登録のサーバーが登録されています。このリストをオンにすると、一部の特殊な設定のサーバーからメールが受信できなくなる可能性があります。

コンテンツフィルタ：迷惑メール文中に含まれる迷惑メール特有の文字列をフィルタします。

③ リアルタイムブラックリスト

スパムハウス SBL ブラックリスト、スパムハウス PBL ブラックリスト、スパムハウス XBL ブラックリストによるスパムフィルタで迷惑メールをフィルタします。

機能を有効にする場合は、フィルタ対象のリストのチェックボックスをオン（✓）にします。

④ スпамアサシン

メールの内容に基づき判定された「スパムレベル」に応じ、フィルタします。1～20 の間で、値が低いほどレベルが高く、迷惑メールの可能性が高くなります。受信したメールのスパムレベルを調べることで、ご利用状況に応じた受信可能なメールに合わせ、レベルを設定することができます。

スパムレベルは、受信メールのヘッダー情報で確認可能です。

※フィルタを厳しくしたい場合は、小さな値に設定します。

「20」が最もフィルタの基準が緩く、「1」が最も厳しい基準のフィルタとなります。

※フィルタを無効にしたい場合は、「0」を設定します。

⑤ グレーリスト

機能を有効にする場合は、チェックボックスをオン（✓）にします。

グレーリストは、未知のメールサーバからのメール受信を一時的に拒否するものです。再送時までメールシステム側でそのメールが迷惑メールではないと判定された場合は、そのメールは配送されます。しかし、再送までメールが受信できないため、少なくとも 20 分以上遅延が発生する場合があります。

⑥ SES(GOL 書名付きメール送信機能)

機能を有効にする場合は、チェックボックスをオン (✓) にします。

お客様本人から送信されていないなりすましメールに対してのエラーメールをフィルタします。ウイルスに感染した他の方のマシンからお客様のメールアドレスを詐称して送信されたメールや、エラーメールを偽装した形式の迷惑メールなどをフィルタすることができます。

※ドメインメールサービスの送信サーバーを利用している必要があります

ウイルスフィルタ

送受信メールどちらに対してもウイルスフィルタを適用することができます。

ウイルスフィルタは、ウイルスの情報は自動的に更新され、常に最新のフィルタが適用されます。添付ファイルも含めてチェックを行い、感染メールは自動で削除されます。

ウイルスフィルタを有効にする場合は、チェックボックスをオン (✓) にします。

ウイルスフィルタ

メール転送

最大5つのメールアドレス相手に、メール転送を行うことができます。

メール転送を行う場合は、下記の項目を設定します。

サーバーにメッセージのコピーを残す

転送先アドレス1

転送先アドレス2

転送先アドレス3

転送先アドレス4

転送先アドレス5

オプション設定を変更

リセット

① サーバーにメッセージのコピーを残す

転送メールをサーバーに残す場合は、＜サーバーにメッセージのコピーを残す＞のチェックボックスをオン（✓）にします。

このチェックボックスを有効にしなかった場合は、転送されたメールはメールサーバから削除され、転送元アドレスのメールボックスには残されません。転送先のメールアドレスのみで受信できます。

転送したメールをサーバーに残す場合は、定期的にメールボックスがいっぱいにならないように蓄積されたメールを削除する必要があります。

② 転送先アドレスの設定

最大5か所まで転送先のメールアドレスを設定できます。

メール転送を設定する場合は、入力欄に転送先のメールアドレスを入力します。

自身のアドレス及びエイリアスメールの設定はしないようにしてください。メールがループしてしまい、エラーが発生する原因となります。

転送を解除する場合は、設定したメールアドレスを＜転送先アドレス＞から削除します。

以上